

九州芸術祭 文学カフェ in 宮崎

神話と 生きる力

—宮崎から—

【日時】 令和8年7月4日(土)
13時～15時(12時30分開場)

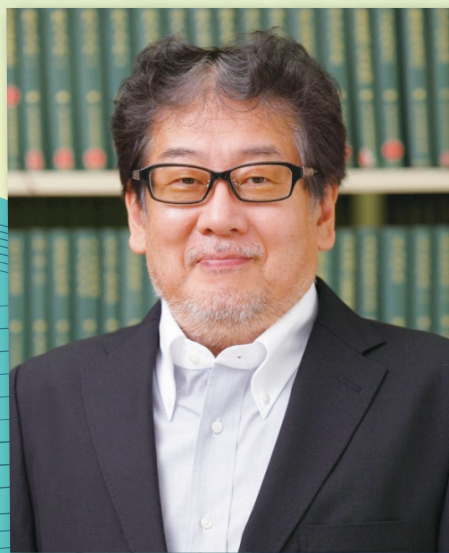
【会場】 県防災庁舎5階 防51号室
宮崎市橘通東1丁目9

【定員】 100名 先着順、要事前申込

駐車場に限りがあるため、
可能な限り公共交通機関で
お越しください。

◆講師
上野 誠氏

(國學院大學教授・日本文学、民俗学者)



- 【申込締切】 6月22日(月) 先着順100名、はがき必着
※定員になり次第締め切り
- 【記載事項】 ①氏名(ふりがな) ②電話番号
③郵便番号、住所 ④同伴者の有無と人数

【お申し込み】

- WEB: 2次元コード
<https://forms.gle/2tS77uSr11MKVKS79>
- メール
event@kyubunkyo.jp
- はがき
880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
宮崎県 総合政策部 みやざき文化振興課
「文学カフェ in 宮崎」担当者宛て



●主催：公益財団法人 九州文化協会 ●共催：宮崎県 ●後援：西日本新聞社

■お問合せ先：公益財団法人 九州文化協会 ☎092-711-5586(月～金、祝日除く10時～16時) E-mail: info@kyubunkyo.jp

※記載いただいた個人情報は、本講演会のご案内および必要事項の確認に利用させていただきます。



九州文化協会 HP



うえの まこと 上野 誠氏

1960年、福岡生まれ。

国学院大学大学院文学研究科博士課程満期退学。奈良大学名誉教授。博士(文学)。国学院大学文学部教授(特別専任)。

第12回日本民俗学会研究奨励賞、第15回上代文学会賞、第7回角川財団学芸賞、第20回奈良新聞文化賞、第12回立命館白川静記念東洋文字文化賞受賞。第68回日本エッセイスト・クラブ賞。

『古代日本の文芸空間』(雄山閣出版)、『魂の古代学——問いつづける折口信夫』(新潮選書)、『万葉挽歌のころ——夢と死の古代学』(角川学芸出版)、『折口信夫的思考-越境する民俗学者-』(2018年、青土社)、『万葉文化論』(2018年、ミネルヴァ書房)など著書多数。

万葉文化論の立場から、歴史学・民俗学・考古学などの研究を応用した『万葉集』の新しい読み方を提案。近年執筆したオペラの脚本も好評を博している。

九州芸術祭文学賞に 応募しませんか

第57回(令和8年度)

九州芸術祭 文学賞 作品(小説)募集

■応募期間/令和8年5月1日~8月31日(消印有効)

■最優秀作/賞金30万円及び「青木秀賞」20万円

最優秀作品は『文學界』(文藝春秋社刊)4月号に掲載!

■佳作/賞金7万円

■地区優秀作/賞金5万円

■地区次席/賞金2万円

青木秀賞
文学賞創設者でもある青木秀氏(元九州文化協会副会長・元西日本新聞社相談役)の遺志により創設された副賞



詳しい応募要項はホームページで

九州芸術祭文学賞



アドバイザー



五木 寛之

最終選考委員



青来 有一



東山 彰良 他

【お問い合わせ先】公益財団法人九州文化協会/〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館 ☎092-711-5586 (平日10時~16時)

芥川賞への近道

1970年に誕生した「九州芸術祭文学賞」(小説)は、公益財団法人九州文化協会が九州・沖縄各県、福岡・北九州・熊本の3政令指定都市との共催で運営し、57回を数えます。

各地区選考、最終選考の二段階で審査を行い、最優秀作は『文學界』(文藝春秋刊)に掲載されます。

中央の文壇の目が届きにくい地方の文学賞では異例のことで、第27回最優秀作『水滴』(目取真俊)はそのまま芥川賞に輝きました。

このほか、村田喜代子、又吉栄喜、大道珠貴の各氏ら芥川賞作家たちも、本賞受賞を足がかりに文壇デビューを果たしました。

第57回の応募は2026年5月1日にスタートしています。

九州芸術祭文学賞から巣立った 芥川賞作家たち

第7回最優秀作「水中の声」村田喜代子

1987年「鍋の中」で芥川賞

第8回最優秀作

「ジョージが射殺した猪」又吉栄喜

1996年「豚の報い」で芥川賞

第27回最優秀作「水滴」目取真俊

1997年、同作で芥川賞

第30回最優秀作「裸」大道珠貴

同作で芥川賞候補 2003年「しょっぱいドライブ」で芥川賞



←第57回九州芸術祭文学賞作品募集のお知らせはこちらから

公益財団法人九州文化協会/〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館 ☎092-711-5586(平日10時~16時)

詳しい応募要項はホームページ

九州芸術祭文学賞

検索